

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年 3月 31日
2次評価日（課長等）	30年 6月 30日

1 事業名	人間ドック助成事業	コード	64105
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 医療保険課	作成者 水野 康夫
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	社会保障の円滑な運営
		予算科目	国保特会	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	国民健康保険法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	国民健康保険被保険者の疾病の早期発見、早期治療により、健康保持を図る。	
目的	対象者	岡谷市国民健康保険の被保険者
	意 図	疾病の早期発見、早期治療により、健康保持を図る。

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
国民健康保険の保健事業の一環として被保険者（35歳から74歳）を対象に人間ドックの助成事業を実施した。376件（日帰りコース332件、1泊2日コース44件）の申請があり6,300,000円の助成を行った。		
＜助成の内訳＞		
・指定医療機関（市内、4医療機関）分…指定医療機関へ委託料として支払いを行った。		
日帰りコース : 15,000円 × 198件 = 2,970,000円		
1泊2日コース : 30,000円 × 10件 = 300,000円		
・指定医療機関以外分…被保険者個人へ補助金として支払いを行った。		
日帰りコース : 15,000円 × 134件 = 2,010,000円		
1泊2日コース : 30,000円 × 34件 = 1,020,000円		
前年度の課題への対応	チラシ等による周知を行った。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	人間ドック等受診件数			単位	件
	実績値	395	407	376	
	*指標の説明	ドック受診実績数			
② 成果指標（指標名）	人間ドック等受診件数			単位	件
	目標値	410	410	410	410
	実績値	395	407	376	
	達成度	96.3%	99.3%	91.7%	
	*指標の説明	ドック受診実績数/当初見込み受診者数			
	*目標値の設定方法の説明	当初見込み人数に対するドック受診件数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	6,780,000	6,945,000	6,300,000	7,650,000
経常経費	6,780,000	6,945,000	6,300,000	7,650,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	—			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	8,380,000	8,545,000	7,900,000	9,250,000
前年度比		102.0%	92.5%	117.1%
財源	8,380,000	8,545,000	7,900,000	9,250,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明	—			
④ 活動一単位あたりコスト	21,215	20,995	21,011	
前年度比		99.0%	100.1%	
⑤ コストに関する補足説明	—			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
岡谷市人間ドック助成事業	件数	176	188	168	180
	金額	3,240,000	3,405,000	3,030,000	3,450,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	3,240,000	3,405,000	3,030,000	3,450,000
	割合	47.79%	49.03%	48.10%	45.10%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 92.4%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 91.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 人間ドック助成事業は、国民健康保険被保険者の健康の保持・増進を目的として行う保健事業の一環として実施しており、人間ドックの利用を推進することにより、被保険者の疾病の早期発見、早期治療を促し、結果として医療費の削減にも結び付くとされていることから、他の保健事業とともにさらなる利用者の増加を図る必要がある。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) チラシ・広報等による周知を図る。	
改善方法		
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---